

第 23 回 再生普及行動計画ワーキンググループ

日時：平成 24 年 11 月 5 日(月) 18:00～20:00

場所：釧路地方合同庁舎 4階 共用第三会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 2012 年度再生普及行動計画 WG の取組み進捗状況
 - 2) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」 中間報告
 - 3) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」 募集（案）について
 - 4) 第 2 期再生普及行動計画の中間評価について
 - 5) 今後のワーキンググループの取組みについての検討
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

- ・ 当議事次第
- ・ 再生普及行動計画ワーキンググループ名簿
- ・ 第 23 回再生普及行動計画ワーキンググループ出席者名簿
- ・ 資料 1-1 前回の WG からの流れ
- ・ 資料 1-2 再生普及行動計画WG の取組み進捗状況
- ・ 資料 1-3 知名度調査アンケート結果
- ・ 資料 2-1 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」 中間報告（概要）
- ・ 資料 2-2 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」 応募状況（一覧）
- ・ 資料 3 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」 募集概要（案）
- ・ 資料 4 第 2 期再生普及行動計画中間評価（案）について
- ・ 資料 5 今後のワーキンググループの取組みについての検討
- ・ 資料 6 今後のスケジュール（案）

[参考資料]

- ・ 「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」 報告フォーマット

**釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
再生普及行動計画ワーキンググループ名簿**

<個人>

金子 正美 (酪農学園大学環境システム学部地域環境学科教授)
君塚 孝一 ((有)自然文化創舎オホーツク知床リサーチワークショップ)
清水 信彦
新庄 久志 (釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター)
高橋 忠一 (再生普及小委員会 委員長)

<団体>

NPO 法人釧路湿原やちの会
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会
釧路市民活動センターわっと
釧路シャケの会
釧路武佐の森の会
こどもエコクラブくしろ
ボランティアネットワーク・チャレンジ隊

<関係市町村>

釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村 弟子屈町

<関係行政機関>

環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
北海道釧路総合振興局
北海道教育庁釧路教育局

<ワーキンググループ事務局>

環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所
財団法人北海道環境財団

第 23 回再生普及行動計画ワーキンググループ 出席者名簿

<個人> (出席者 50 音順)

氏 名	所 属
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター
高橋 忠一	再生普及小委員会 委員長

<団体>

所 属	出席者氏名
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	中嶋 忠雄
釧路市民活動センターわっと	成ヶ澤 茂
釧路シャケの会	小杉 和寛
釧路武佐の森の会	大西 英一

<関係市町村>

所 属	出席者氏名
釧路市 環境保全課 湿地保全主幹	菊地 義勝
標茶町 企画財政課観光振興係	中島 吾朗

<関係行政機関>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所 所長	西山 理行
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課 治水専門官	稲垣 達弘
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官	朝倉 基博
北海道教育庁釧路教育局	清水 秀紀

<ワーキンググループ事務局>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所 野生生物課長 国立公園・保全整備課課長補佐 釧路湿原自然保護官	大林 圭司 高見沢 敏男 竹中 康進
財団法人北海道環境財団 事務局次長	久保田 学 清水 美希

前回のWGからの流れ

2012年	
4月26日	<p><u>第22回再生普及行動計画WG 開催</u></p> <p>「ワンダグリンダ・プロジェクト2011」活動報告</p> <p>「ワンダグリンダ・プロジェクト2012」応募状況について</p> <p>行動計画WGの活動予定</p> <p>自然再生に参加する、行動するについて（検討）</p>
4月28日～5月13日	<p>釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真）（会場：釧路空港）</p> <p>開催</p>
6月～8月	<p>釧路湿原の自然再生に参加しよう！（集中強化期間）</p>
5月11日～6月3日	<p>釧路湿原自然再生事業紹介パネル展貸出（会場：釧路市立博物館）</p>
6月9日	<p>「エコ・フェアくしろ2012」（主催：実行委員会）参加</p> <p>ワンダグリンダ・プロジェクト2011報告書配布開始</p>
6月11～30日	<p>釧路湿原（航空写真）貸出（会場：釧路こども遊学館）</p>
6月14日	<p><u>第19回再生普及小委員会 開催</u></p> <p>再生普及行動計画WGの報告および内容の承認等</p> <p>ワンダグリンダ・プロジェクト2012 公開</p> <p>ワンダグリンダ・プロジェクト2012交流座談会</p> <p>ワンダグリンダ・プロジェクト登録証作成、配布</p>
7月27日	<p>釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真）（会場：釧路国際交流センター）開催</p>
8月3日	<p>第9回フィールドワークショップ 開催</p>
8月4日	<p>ワンダグリンダ応募者特権カヌーツアー開催（案内：新庄さん）</p>

8月16日	釧路湿原自然再生現場見学会「森林再生」（達古武）開催
8月30日	「タンチョウワーキングキャンプ」にて釧路湿原自然再生講義
9月2、3日	ワンダグリンド・プロジェクト知名度調査アンケート 実施
9月10日	茅沼地区旧川復元 概要HP公開
9月20日～9月30日	釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真）貸出（会場：たんちょう釧路空港）開催
9月23日	鶴居村ふるさとまつり（主催：実行委員会）参加
10月5日～20日	釧路湿原（航空写真）展（会場：鶴居村役場）開催
10月21日	釧路湿原自然再生現場見学会「湿原再生」（幌呂）開催
11月5日（本日）	<u>第23回再生普及行動計画WG</u> 開催

再生普及行動計画WGの取組み進捗状況

事務局として以下の取組みを実施した。「★」は 2012 年度の新たな取組みを、下線は今年度の重点的に取り組む事項を示す。

1 行動計画の進行管理、活動支援

行動計画の進行管理、参加者の活動支援、活性化に向けた取組みを行う。

■ワンダグリンド・プロジェクト2011活動報告書の作成、配布

■ワンダグリンド・プロジェクト2012の進捗把握、活動支援

- ・パネル展での紹介、メールニュースでの情報、活動情報の発信
- ・タクッパさんのラジオ出演への協力

■ワンダグリンド・プロジェクト2012登録証の発行、配布

■ワンダグリンド・プロジェクト推進サポーター登録証の発行、配布

■ワンダグリンド・プロジェクト普及シールの配布

- ・6月に完成、ワンダグリンド応募者へ配布し、掲示をお願いした。

★ワンダグリンド参加団体間の交流の促進

- ・ワンダグリンド・プロジェクト2012交流座談会の開催
(6月14日に開催、22名の参加にて登録証の授与と登録団体間で交流した。)



■ワンダグリンド応募者特権カヌーツアーの実施

- ・8月4日（日）新庄さんのご案内で 細岡～岩保木間のカヌーツアーを行った。
参加した川口さんの感想「湿原オタク（笑）にとってはカリスマ（スター）ですから、やや緊張もありましたが、色々なお話をお聞きすることができ、今までの自然（湿原）に対する心構えが甘かったことを痛感し、同時に大きな扉が開いていきました。」



■フィールドワークショップの実施

第9回フィールドワークショップ「体感！キラコタン岬～夏の湿原をゆく～」

実施日時 : 2012年8月3日(金) 5時～10時30分

実施場所 : キラコタン岬と周辺

参加者数 : ワンダグリнда応募者8名(うち普及小委員会・WGメンバー2名)

実施内容 : 湧水を育むキラコタン岬周辺の湿原散策、森林伐採の影響をみられるチルワツナイ川の現状確認。

講師 : 新庄久志氏(本WG座長)

アンケート回答より(抜粋):

- ・湿原の水位と景観、自然の違いの関係がわかった。身をもって上流の土砂が流れ込んでいること等がわかり、再生の意味を考えるきっかけとなった。
- ・釧路川の支流、源流付近での土砂流入の様子を確認できよかった。
- ・地下水位の栄養の違いによる植生の変化について知ることができたこと。どちらも当方で行っている、環境調査や普及啓発イベントにおおいに役立つと思います。
- ・河川への土砂の流入状況を実際に確認できたこと等、湿原の現状を知ることができてよかったです。
- ・釧路湿原の聖地、しかも高層湿原部までお連れいただき全ての意味で貴重な体験でした。湿原内部を荒らした事を無駄にしないように伝えていきます。



2 情報発信・普及活動の拡充

2-1情報発信・普及活動

第2期行動計画の重点分野「釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ」を広げていくため、多様な活動を発信していく。

★再生普及行動計画通信ホームページリニューアル

- ・1月リニューアル公開予定で進行中

■メールニュースの配信、掲示

- ・ワンダグリンダの活動紹介を掲載しながら配信中。
- ・掲示場所が広がらず苦戦している

■市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供、記事掲載

- ・イベントごと依頼し働きかけを行う

■イベントの出展、パネル展の開催など

情報発信の拡充に向け、パネル、航空写真の貸出を開始した。出展の際には、WGメンバーの協力も得し、自然再生に関する普及を行った。

○主催展示

- ・4/3～4/27：釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（会場：道の駅摩周）開催



*道の駅摩周では釧路湿原自然再生の流域視点を踏まえ弟子屈町の道の駅で開催した。観光客を始め、弟子屈町の方にも釧路湿原PRの機会となった。

- ・4/28～5/13：釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真展示）（会場：たんちょう釧路空港）開催



*たんちょう釧路空港では、去年に続いての開催であり、市内、道内外と多くの方々に釧路湿原（の広さ）等をPRする場となった。待合い時間が湿原を眺める時間となり大変好評であった。

- ・10/5～20：釧路湿原（航空写真展示）（会場：鶴居村役場）開催



* 鶴居村役場では初めてみる上空からの村の風景から隣接している釧路湿原を紹介した。

○イベント等への出展

- ・6/9：「エコ・フェアくしろ 2012」（主催：実行委員会）に釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真展示）、ワンダグリンド団体ブース（鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ、伊勢さん、辻野さん、ハートンツリー、WG事務局）にて参加



* エコフェアでは、湿原のミニチュアにより湿原の紹介を行った。ワンダグリンド参加者もブースを出展し活動を紹介する機会となった。

- ・7/27：「霧フェスティバル」（主催：実行委員会）に釧路湿原自然再生事業紹介パネル展（航空写真展示）にて参加
- ・9/23：「鶴居村ふるさとまつり」（主催：実行委員会）に釧路湿原自然再生事業紹介パネル展、ワンダグリンド紹介ブース(辻野さん)にて参加



* 鶴居村ふるさとまつりでは、釧路湿原の自然再生事業紹介と共に、「鶴居村釧路湿原流域ガイドマップ」作りにむけたアンケートを行い、鶴居村の魅力を集めた。

★再生普及行動計画ワーキンググループ通信のHP上に釧路湿原自然再生事業紹介パネル等の貸出バナーを開設し貸出をスタートさせた

○パネル、航空写真貸出

- ・5/11～6/3：釧路湿原自然再生事業紹介パネル（釧路市立博物館）
- ・6/11～30：釧路湿原航空写真（釧路こども遊学館）
- ・9/20～30：釧路湿原自然再生事業紹介パネル（航空写真）（たんちょう釧路空港）

3 自然再生の参加の機会づくり

第2期行動計画の重点分野「自然再生に参加する、行動する」の機会を創設する。

■自然再生現場の見学会

○釧路湿原自然再生現場見学会「森林再生」（達古武）

実施日時 : 2012年8月16日（火）7時～9時

実施場所 : 釧路町達古武地区 森林再生現場

対 象 : 達古武オートキャンプ場宿泊者

参加者数 : 13名

実施内容 : 朝の時間帯に、森林再生の森を散策した。簡易図鑑を配布し、人工林（手をかけたカラマツの森）と自然林（再生の目指す郷土種の森）の違いを樹種や昆虫（トラップ）を比較し、クイズをしながら探索した。

案 内 : 森林再生小委員会（環境省）、行動計画WG事務局

協 力 : 森林再生小委員会（環境省）、達古武オートキャンプ場

アンケート回答より（抜粋）:

- ・虫、森の様子が勉強になりました。達古武の由来など知らない事ばかりなので話がきけてよかった。自然な森、人工的な森の違いよくわかる。
- ・朝の気持ちいい時間に楽しい説明であつという間に時間が過ぎました。
- ・このような機会がなければ、体験できない貴重な時間でした。
- ・シカに食べられないようにしたり、釧路湿原の自然を再生しようとしている取り組みがわかったし、森を歩いたのはとても楽しかった。
- ・このような気軽な「散歩」が参加しやすくて、ありがたいです。



○釧路湿原自然再生現場見学会「湿原再生」（幌呂）

実施日時 : 2012年10月21日(日)10時~12時

実施場所 : 鶴居村幌呂地区 湿原再生現場

対 象 : 鶴居村民

参加者数 : 9名

実施内容 : 事業地の説明後、ハンノキ調査を湿原再生現場にて行い、湿原クイズ(景品あり)、ヤチボウスの生態調査をしながら湿原内の散策を探索した。

案 内 : 湿原再生小委員会(委員長:新庄さん、釧路開発建設部治水課)、行動計画WG事務局

協 力 : 湿原再生小委員会(釧路開発建設部治水課)、鶴居村

アンケート回答より(抜粋):

- ・漠然とみていたハンノキやヤチボウズを計測できてよかったです。
- ・子供と一緒に湿原を身近に感じることができてうれしかったです。ハンノキもどのような木なのか私自身もはじめて知ることができました。子供でも歩きやすく整備していただき助かりました。ありがとうございました。
- ・湿原を見る目線が変わった。ヤチボウスに鳥がエサを食べに来るとは知らなかった。今日は楽しかった。
- ・思ったより、いろいろな事を学びました。排水路との関係おもしろいです。農地との関係も掘り下げてほしいです。
- ・天気もよく、大変楽しかった。ヤチボウスの生態が良かった。次回も是非参加したい。今日は鶴居の学校の学芸会だったのが残念でした。イベントの日程を考える必要がありますね。



★「自然再生へ参加する、行動する」の取り組み促進

実施期間 : 2012年6月～8月(強化集中月間とする)

実施内容 : ワンダグリンド・プロジェクトの取り組みのうち、自然再生への具体的な取り組みを行っている団体を一定期間内に集約してPRし、市民の参加拡大を図った。

*6月2、3、9、10日 トラストサルン釧路(ボランティア植林月間)

・6月9日 行動計画WG事務局(釧路湿原ミニチュアガイド)

・6月10日 環境コンサルタント株式会社&釧路町達古武オートキャンプ場(カヌーDE清掃 in 達古武湖)

・6月17日 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター(ボランティア植樹)

・7月3日 辻野 正さん(釧路湿原生き物ペーパークラフト講習会)

*7月14日 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ(冬の食採場作り)

・7月22日 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター(森林アクティビティ講座)

・7月28日 釧路国際ウエットランドセンター(みんなで調べる復元河川的环境)

・7月29日 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会&こどもエコクラブくしろ(ウチダザリガニの捕獲作業)

*8月4日 釧路湿原国立公園連絡協議会(クリーンデー)

・8月11日 釧路短期大学(咲くサクッキーの販売)

・8月12日 釧路湿原国立公園連絡協議会(ザリガニウォッチング)

「*」は日本製紙との連携によりクレインズ選手の参加を得て実施した。

アンケート回答より(抜粋):

- ・再生につながる活動ができて誇りに思います。
- ・積極的に自然再生活動は参加したいです。告知がもっとあれば・・・
- ・現場を多くの地元人が訪れ、一緒に考えるという機会が本当に大切だと感じた。
- ・実際に参加をし、触れて感じる事ができた。知識も深められ、次ぎにつながります。
- ・再生活動にはいろいろなことがあるのですね。これからも出来ることには参加したい。
- ・初めて参加させていただきました。貴重な体験が出来とっても楽しかったです
- ・自然再生について考えさせられる、いいきっかけになりました。
- ・初めて参加させていただきました、普段の生活ではあまり考える機会がない、餌場の確保について考えきっかけになりました。



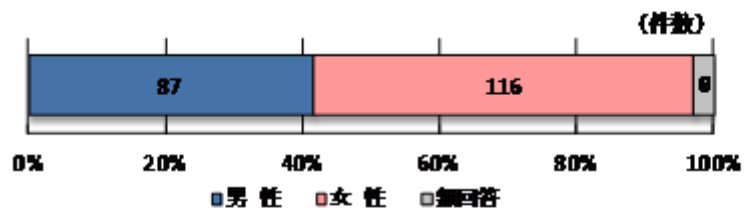
■知名度調査アンケートの実施

実施日と調査場所	2012年9月2日(日) 10:00~12:00 温根内ビジターセンター 13:00~15:00 イオン釧路昭和店
	2012年9月3日(月) 10:30~13:00 JR 釧路駅前
調査件数	JR 釧路駅前 80件・イオン釧路昭和店 80件・温根内VC 49件 合計:209件
実施対象	10~80代の男女
調査員	各所4~5名(学生ボランティア1名、委託3名、事務局1名)

●アンケート回答者の属性(総数 209件)

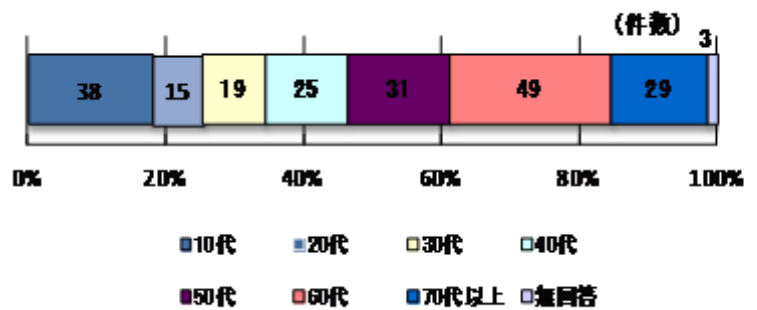
性別

	JR釧路駅	イオン	温根内VC
男性	36件	27件	24件
女性	39件	52件	25件
無回答	5件	1件	0件
合計	80件	80件	49件



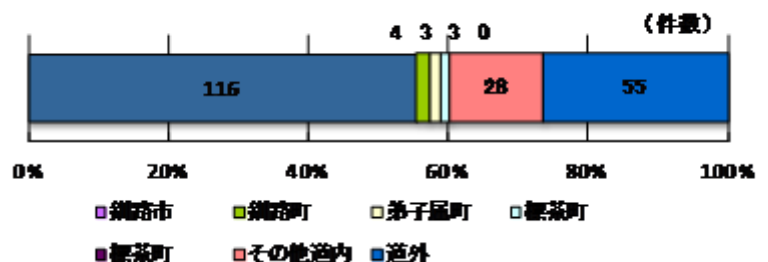
年齢

	JR釧路駅	イオン	温根内VC
10代	8件	26件	4件
20代	4件	5件	6件
30代	8件	7件	4件
40代	6件	11件	8件
50代	5件	13件	13件
60代	20件	15件	14件
70以上	27件	2件	0件
無回答	2件	1件	0件



地域

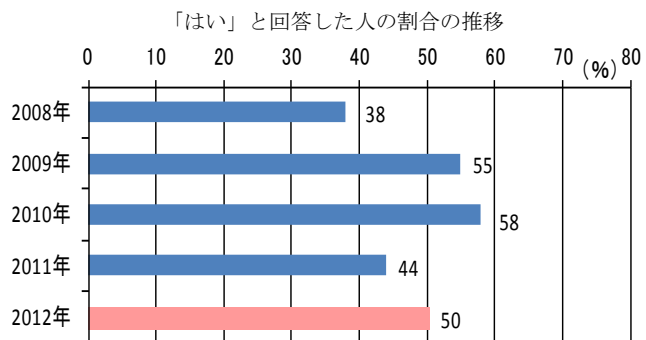
	JR釧路駅	イオン	温根内VC
釧路市	30件	65件	21件
釧路町	0件	2件	2件
弟子屈町	2件	0件	1件
標茶町	0件	3件	0件
鶴居村	0件	0件	0件
他道内	9件	9件	10件
道外	39件	1件	15件



●知名度調査アンケート結果（全体）

1 「釧路湿原自然再生事業」を聞いたことがありますか

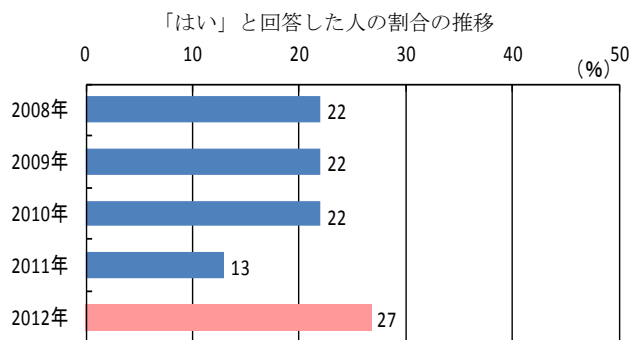
	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	38 件 (48%)	35 件 (44%)	32 件 (65%)
いいえ 無回答含	42 件	45 件	17 件



感想：旧川復元事業を知っている人が多かった。

2 「釧路湿原自然再生協議会」を聞いたことがありますか

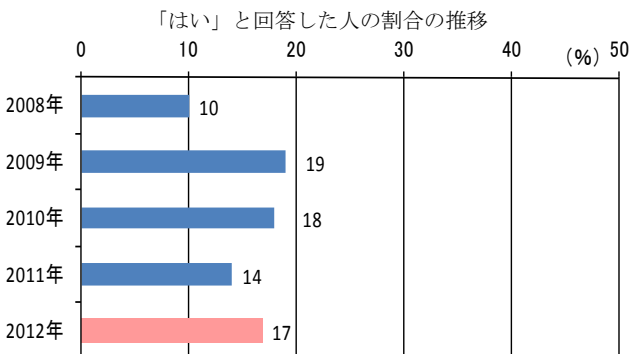
	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	22 件 (28%)	18 件 (22%)	16 件 (33%)
いいえ 無回答含	58 件	62 件	33 件



感想：名前は聞いたことがあるとの声が多かった。

3 「釧路湿原自然再生全体構想」を聞いたことがありますか

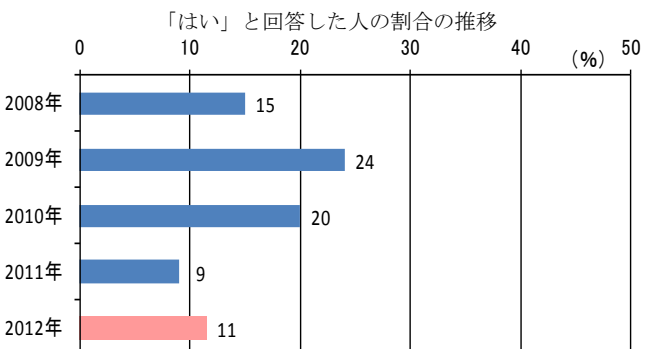
	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	14 件 (18%)	13 件 (16%)	8 件 (16%)
いいえ 無回答含	66 件	67 件	41 件



感想：具体的な自然再生に関して知っている人が少なかった。

4 「ワンダグリンダ・プロジェクト」を聞いたことがありますか

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	7 件 (9%)	8 件 (10%)	9 件 (18%)
いいえ 無回答含	73 件	72 件	40 件



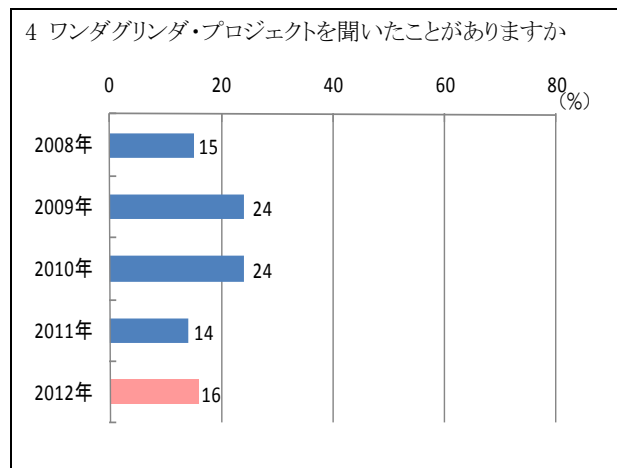
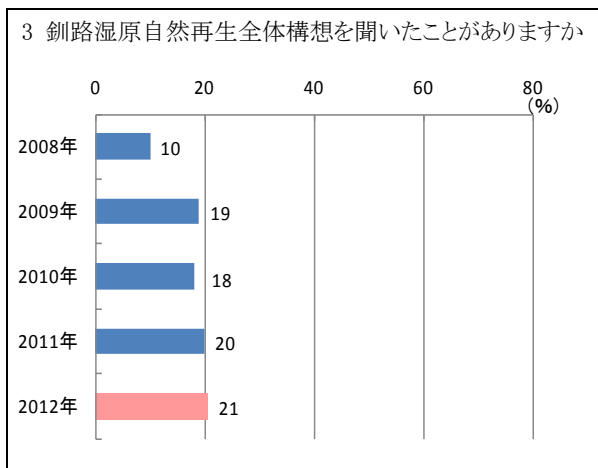
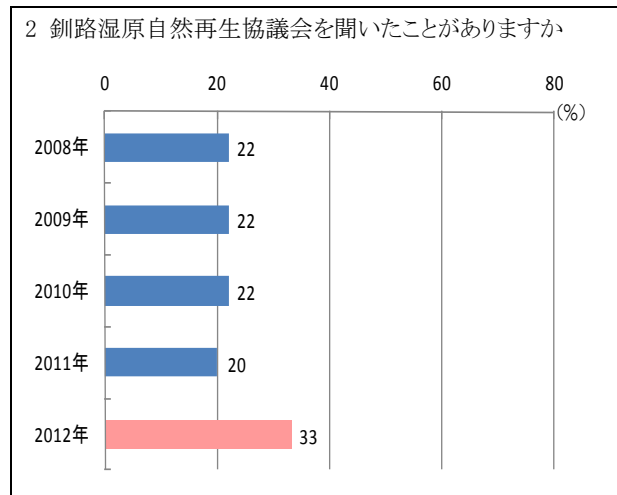
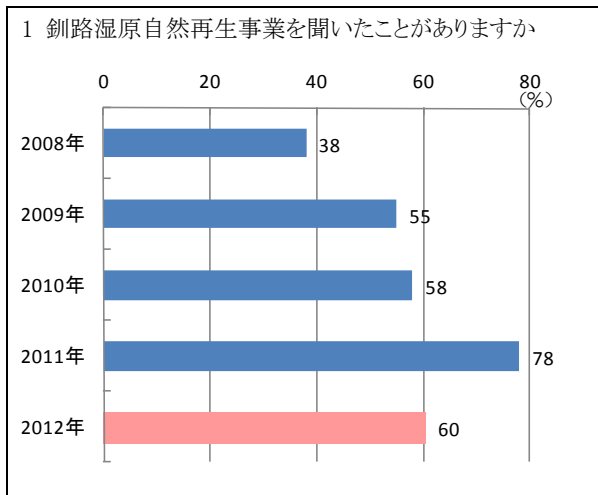
合計「はい」のうち

- ・おおまかでも内容を知っている：11 件
- ・どんな内容なら参加したいか：
(募金、ドングリ倶楽部、外来種駆除)

(参考 1 * 釧路湿原周辺住民のアンケート結果)

調査件数		全体	釧路湿原周辺
	2008 年度	150 件	89 件
2009 年度	226 件	147 件	
2010 年度	191 件	113 件	
2011 年度	253 件	153 件	
2012 年度	209 件	126 件	

* 釧路湿原周辺：釧路市・釧路町・標茶町・弟子屈町・鶴居村



いずれも質問に「はい」と回答した人の割合の推移

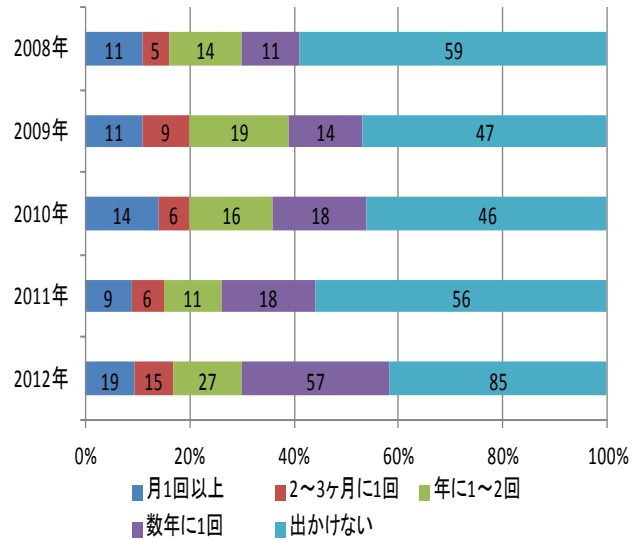
(参考2 *アンケート全体より*)

○釧路湿原に最近出かけていますか

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
月1回以上	5	2	12
2-3ヶ月に一度	5	8	2
年1-2回	5	12	10
数年に1回	32	20	5
出かけない	32	38	15

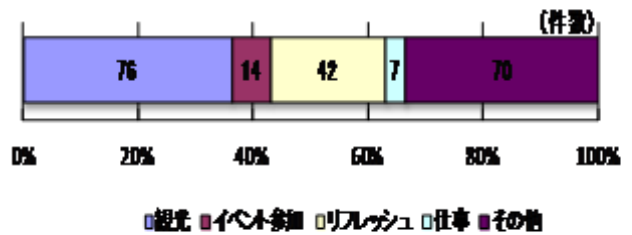
出かけない理由：

(遠い、忙しい、足がない、変り映えしない、
何をしたいかわからない、興味ない、わざわざ
いかない、行くきっかけがない、魅力を感じない)



○出かける目的は何ですか

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
観光	38	20	18
イベント参加	4	6	4
リフレッシュ	10	20	12
仕事	4	2	1
その他 (無回答含)	24	32	14

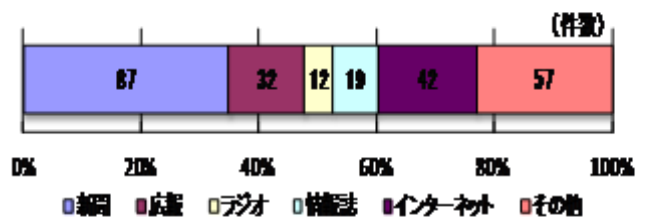


その他：

(スタンプラリー、カヌー、釣り、大学の授業で、散策(植物、昆虫)、写真撮影、墓参り、来訪者を案内、
景色を見に、気持ちいい、ウォーキング)

○釧路湿原に関する情報(イベントも含)を得る(見る)時はどんなものが主ですか(複数回答)

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
新聞	22	49	16
広報	8	19	5
ラジオ	4	7	1
情報誌	6	4	9
インターネット	21	5	16
その他 (無回答含)	24	12	21

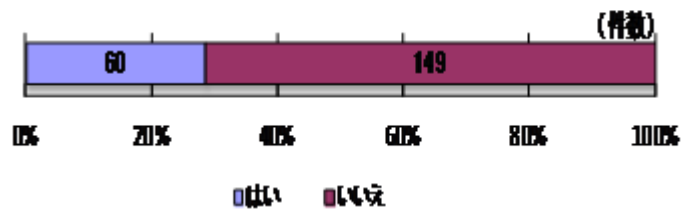


その他：

(パンフレット、TV、ユース宿、宿主、旅人、ご近所さん、親戚、友人、イベントで)

○市民参加の自然再生イベントがあれば参加したいと思いますか

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	14 件 (18%)	24 件 (30%)	22 件 (45%)
いいえ 無回答含	66 件	56 件	27 件



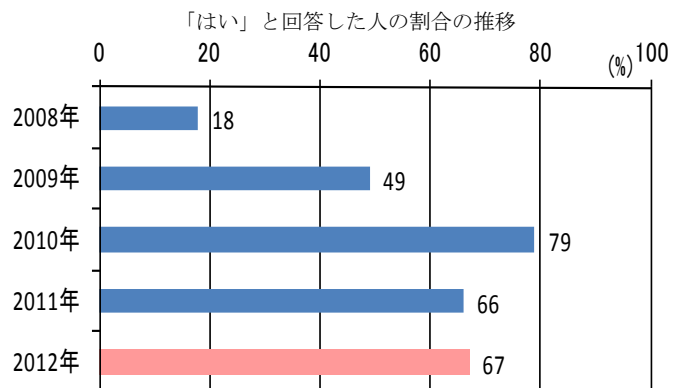
「はい」と答えた人へ対して

・どんな活動ならば参加したいと思いますか（複数回答）：

（難しくないもの、面白い、楽しい、学べて体験できるもの、タンチョウ保護、散策、植樹、魚の保護、キレイにしたい、植物観察会、レクリエーション、汗をかかないもの、ゴミを増やさないような、なにかお役に立てるような）

○釧路湿原や身近な自然を守るために何か行っていますか

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC
はい	7 件 (9%)	8 件 (10%)	9 件 (18%)
いいえ 無回答含	73 件	72 件	40 件



「はい」と答えた人へ対して

どんな内容ですか（複数回答）：

（ゴミ拾い、植物観察、散策）

○普段の暮らしの中で、環境保全を意識して行っていることを教えてください（複数回答）

	JR 釧路駅	イオン	温根内 VC	全体
節電	66%	48%	59%	65%
節水	50%	56%	39%	46%
エコバック持参	51%	40%	49%	53%
資源回収	35%	13%	39%	38%
リサイクル	15%	0%	22%	16%
リユース	6%	9%	8%	4%
ゴミ拾い	14%	10%	20%	13%

その他：

（ゴミを捨てない、ゴミを拾う、ゴミを減らす（出さない）、レジ袋削減、家庭排水への配慮、湿原の宣伝、洗剤利用を控える、無添加の洗剤を使用、モノを粗末にしない、イベントに参加、なるべく入らない）

「ワンダグリンド・プロジェクト2012」中間報告（概要）

1 取組み者数について

2012年度当初は、45団体(個人)69取組み（協議会含む）でスタートし、前回の小委員会後新たに5団体5取組みが加わった。その結果、2012年10月現在の取組み者数は以下のとおり。

- (1) 総数：50団体（個人）74取組み（協議会含む）
- (2) 前回から追加応募された団体、取組み

新規

- ・（NPO）環境把握推進ネットワーク～PEG
：釧路湿原やそこに生息する動植物を題材とした学習会などの実施
- ・酪農学園大学 環境地球化学研究室
：釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査

継続

- ・ リンク・リング
：野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらいます。
- ・ 喜多島 麻鈴
：コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます
- ・ ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊
：自然観察や自然体験の実施

2 ワンダグリンド・プロジェクト2012進捗状況について

- | | |
|---------------|---------------|
| ・取組みが既に終了した | 29件 |
| ・これから予定している | 6件 |
| ・実施の予定が立っていない | 1件 |
| ・活動中 | 38件（うち5件は協議会） |

3 「ワンダグリンド・プロジェクト2012」の報告について

実施者への報告依頼は、報告フォーマット（参考資料参照）を使用し、年明けから始める予定。

「ワンダグリンダ・プロジェクト2012」 応募状況（一覧）			
※「★」新規参加、「太字斜体」前回の小委員会後の参加を表す。		2012年10月	
団体名	取組み概要		No
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	終了	1
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	終了	2
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	活動中	3
シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	1～3月/1回	4
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	活動中	5
釧路国際ウエットランドセンター	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	終了	6
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	終了	7
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	活動中	8
	世界湿地の日(2月2日)記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2013」を開催します	1月下旬～2月上旬	9
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	活動中	10
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	活動中	11
釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	活動中	12
	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	活動中	13
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	活動中	14
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	終了	15
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	終了	16
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトの実施	活動中	17
くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	終了	18
釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	活動中	19
かせいじん	湿原動植物の創作折り紙の製作・展示	活動中	20
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	活動中	21
(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	活動中	22
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	終了	23
釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	活動中	24
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	活動中	25
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	活動中	26
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	随時	27
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	終了	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査(セイヨウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等)防除を実施します	終了	29
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	活動中	30

さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	活動中	31
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	活動中	32
イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	終了	33
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「森林アクティビティ講座」の実施	終了	34
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	活動中	35
	「お庭で苗木育成」の実施	活動中	36
タクッパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	活動中	37
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	活動中	38
オカリナ演奏 宮永真智子	オカリナ演奏で協力し釧路湿原に興味を持っていただきます	活動中	39
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	終了	40
(NPO) 釧路湿原やちの会	宮崎岬清掃登山を実施します	終了	41
(財) 釧路市民文化振興財団(釧路市生涯学習センター)	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(霧多布湿原を訪ねて)」を開催します	終了	42
	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(釧路湿原の湧水地を訪ねて)」を開催します	終了	43
	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	終了	44
	まなぼつと子ども探検隊「森林と動物を調べる2012」を開催します	終了	45
	湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	終了	46
★ 釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	終了	47
(株)FMくしろ	釧路短期大学の西英一教授をナビゲーターにお迎えし、ラジオで湿原の魅力発信します	活動中	48
(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	1月、随時	49
(NPO) 北海道フィッシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動をします	終了	50
★ 西村 孝弘	釧路川流域で釣り人が放置していったライン等の撤去、回収をします。	活動中	51
(株) 日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	活動中	52
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	終了	53
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	終了	54
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	年3回	55
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	終了	56
(公財) 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	活動中	57
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	年2回(夏、春)	58
	タンチョウウィーターチャーズガイド(TTG)講習会を開催します	12月	59
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	終了	60
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	グリーンウォークを実施します	活動中	61
	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	終了	62
	温根内木道定点解説を実施します	終了	63
ハートツリー	食材で作る手作りコスメ、ハーブ栽培の実施	活動中	64

リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	活動中	65
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	活動中	66
★(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原やそこに生息する動植物を題材とした学習会などの実施	活動中	67
ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	終了	68
★酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	終了	69
	49 団体・個人／69取組み		
釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	活動中	1
	学習会や講演会などを行います	活動中	2
	パネル展などを実施します	活動中	3
	視察・研修などを受入れます	活動中	4
	自然再生に関わる資料を発刊します	活動中	5
	50団体・個人／74取組み(協議会含む)		

「ワンダグリンダ・プロジェクト 2013」募集概要（案）

1 募集期間

2013年2月11日（月）～3月11日（月）までの1ヶ月間

※基本的には随時、受け入れを行うが、年に1回、期間を決めて集中して募集する。

2 広報について

チラシ・ポスター（チラシ10000枚、ポスター200枚）を作成し以下により広報する。

- ・ 公共施設（コミセン、観光施設等）への掲示依頼（市町村役場に協力を依頼）
- ・ 各報道機関、関係市町村発行の広報誌へ掲載依頼
- ・ ホームページへ掲載（WG通信、環境省釧路自然環境事務所、関係機関）
- ・ 北海道環境財団のメールニュースに掲載
- ・ メールニュース『ワンダグリンダ☆ニュース』へ掲載
- ・ 学校へ配布（関係市町村教育委員会へ協力を依頼）
- ・ 推進サポーターへの掲示依頼
- ・ WGメンバーからの広報

3 応募方法

応募用紙をWG事務局に送付を依頼、もしくはホームページよりダウンロード

- 必要事項を記入しWG事務局に送付（メール、ファックス、郵送のいずれか）
- WG事務局で内容について応募者に確認（電話、ファックス、メール等）
- 〆切後、WGにて承認後、応募者に「ワンダグリンダ・プロジェクト2013」として公開することをお知らせ（2013年4月下旬公開予定）

4 連絡先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会

再生普及行動計画ワーキンググループオフィス ワンダグリンダ・プロジェクト担当

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 釧路湿原野生生物保護センター内

e-mail : wanda@heco-spc.or.jp TEL : 0154-56-4646 FAX : 0154-56-2267

5 その他

(1) 釧路湿原自然再生の普及に貢献する活動であれば、地域を問わず受け入れる。

(2) チラシ・ポスターの仕様

○チラシ

・装丁 / A4判、カラー両面、縦四つ折り

・印刷部数 / 10000部

・内容 / 表紙 : ロゴ

開いたページ : ワンダグリンド・プロジェクトの説明

(A4サイズ) 行動計画3つの柱

更に開いたページ : ワンダグリンド参加者の紹介(写真付き)参加者特権、

(A3サイズ) 自然再生事業の紹介、連絡先

裏面 : 申込み用紙

○ポスター

・装丁 / A2、カラー

・印刷部数 / 200枚

第 2 期再生普及行動計画の中間評価について（案）

1. 経緯と趣旨

第 2 期釧路湿原自然再生普及行動計画(以下第 2 期行動計画)は、次の 3 つの重点分野を掲げている。

- | |
|------------------|
| ① 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ |
| ② 自然再生に参加する、行動する |
| ③ 地域と関わり、人をつなぐ |

①に関しては、第 1 期行動計画で相当の成果が出ており、引き続き広げていくこととしているが、②に関しては第 1 期行動計画では十分な成果が上げられていなかったため、第 2 期行動計画では、特にこの分野に集中的に取り組んでいくこととなった。③については、さらに大きな目標であるが、機を見て着手し、実現を目指していくこととされている。

2010 年度から開始された第 2 期行動計画（2014 年までの 5 年間）は、今年度折り返し点を迎えており、2012 年 6 月 14 日の第 19 回再生普及小委員会で、取組の中間評価を行う方針が示された。このため、ワンダグリンダ・プロジェクト及び行動計画 WG 事務局の取組を中心にこれまでの活動を振り返り、中間評価及び改善事項等を検討していくこととする。

2. ワンダグリンダ・プロジェクト登録数の分析

ワンダグリンダ・プロジェクトの登録数はプロジェクト開始から横ばいから、やや増加で進行してきている。ワンダグリンダ・プロジェクトとして活動支援とした情報発信、登録証や普及シールの配布、横のつながりを深める交流会など「メリット」とした取り組みを行ってきており、現在の登録は 1 団体 1 取り組みが増え、主体数は増加している。また、取り組み内容もフィールド使った調査での学生や団体、地域づくりを行う団体、保全活動をしている個人、企業と多様となり広がってきている。

表 1 各年度のワンダグリンダ・プロジェクト登録総数

年度	取り組み	団体・個人
2005	68	33
2006	60	31
2007	73	36
2008	73	42
2009	76	43
2010	76	45
2011	69	44
2012	74	50

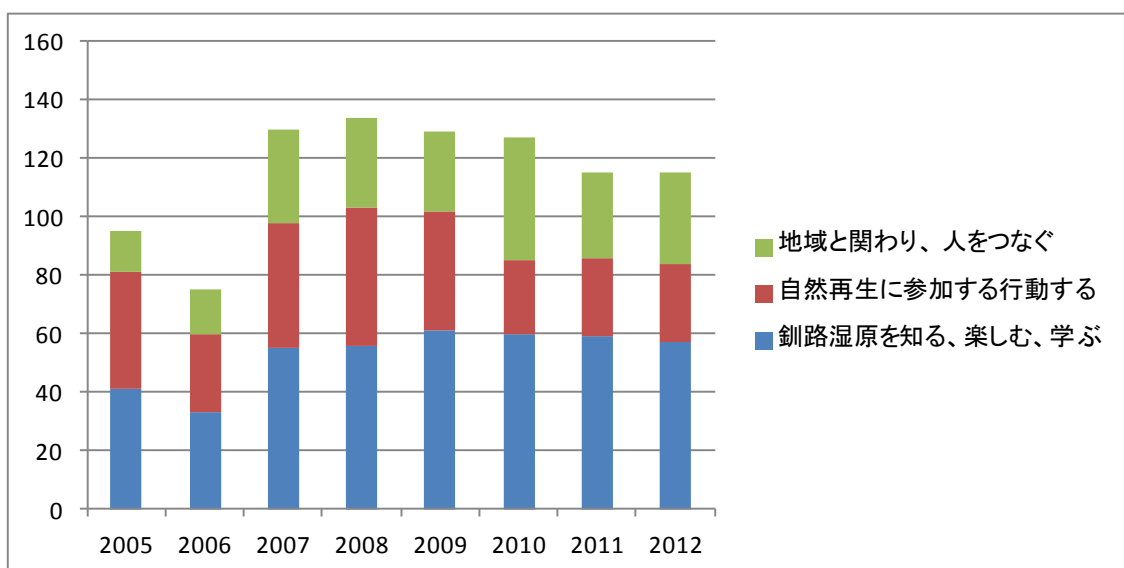
3. ワンダグリンド・プロジェクト登録者による活動目的（自己認識）の分析

ワンダグリンド・プロジェクトは、登録時に行動計画のどの分野を目的とする事業かを選択して応募する仕組みとなっている。そこで、過去のワンダグリンド・プロジェクトの報告書から、登録事業の自己申告ベースでの活動目的を調べ、第2期行動計画の3つの重点分野に振り分けて整理した。各年度の登録総数は表1、重点分野別の登録数は表2及び図1のとおりである。なお、第1期行動計画と第2期行動計画の重点分野の対応は、表3のとおりとした。

表2 ワンダグリンド・プロジェクトの活動目的（応募者の選択から）

	釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ		自然再生に参加する、行動する		地域と関わり、人をつなぐ	
	取組数（団体数）		取組数（団体数）		取組数（団体数）	
2005	41 (31)	44%	40 (19)	41%	14 (11)	15%
2006	33 (20)	44%	27 (15)	33%	15 (11)	25%
2007	55 (30)	42%	43 (19)	36%	32 (20)	20%
2008	56 (37)	42%	47 (25)	35%	31 (19)	23%
2009	61 (12)	47%	41 (22)	32%	27 (18)	21%
2010	60 (34)	47%	25 (17)	20%	42 (30)	33%
2011	59 (27)	51%	27 (19)	23%	29 (20)	25%
2012	57 (37)	49%	27 (19)	24%	31 (23)	27%

図1 登録者（自己認識）によるワンダグリンド・プロジェクトの分野別件数の推移



※ 複数回答を累計したため、報告書掲載の取組み数よりも大きな数値となっている。

表3 第1期行動計画と第2期行動計画の重点分野の対応関係

第1期行動計画の分類	第2期行動計画の分類
1. みんなの湿原への関心を高める 2. 湿原と人との関わりの歴史と今を知る 7. 湿原と継続的に関わる学びの機会をつくる	①釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
3. 自然再生のしくみや動きを広める 4. 自然再生について情報公開と合意形成を進める 5. 自然再生に地域・市民の参加を促す 6. 自然再生への幅広い支援・協力を求める	②自然再生に参加する・行動する
8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す 9. 湿原を訪れる人へのサービスを改善する 10. 人・施設・地域のネットワークをつくる	③地域と関わり、人をつなぐ

各年度の取組総数に占める「自然再生に参加する／行動する」に該当する取組の割合は、第1期行動計画の32～41%から、第2期計画では20～24%に減少している。これは、表3のとおり第1期行動計画と第2期行動計画で分類が異なることによる選択肢数の変化の影響が考えられる。

4. 事務局によるワンダグリダ・プロジェクト登録事業の活動目的の分析

上記「2.」は、いわば応募者の自己申告であり、選択の基準が応募者により異なるため、別途事務局により、応募者の選択にかかわらず、事業内容により行動計画の重点3分野のどれに最も当てはまるかを検討し、分類を行った。なお、複数の目的を持つ事業も考えられるが、今回は目的として最も重視していると考えられる項目に着目し、単一の目的に振り分けた。

具体的には、第2期行動計画のそれぞれについて、人々と湿原の接点の拡大や幅を広げる活動等を「①釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ」に分類し、「湿原について、気づきや知識を得た人たちが、一歩進めて様々な活動に参加し、行動している取り組み」として、自然再生事業地での調査や観察会、外来種調査、湿原周辺での清掃活動、植林、タンチョウの餌場づくりへの参加など、自然再生に直接貢献する活動、及び、自然再生の普及や推進を明確に目的とする環境学習や講演会、寄付活動等を「②自然再生に参加する、行動する」に分類した。

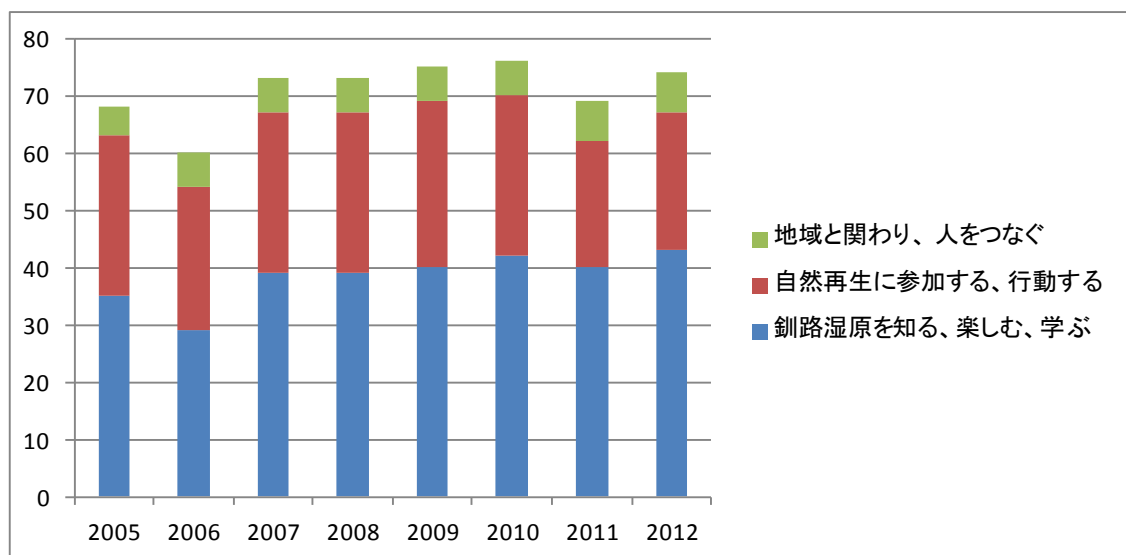
また、自然再生に関わる地域や人とのつながりづくりや、そのための持続的な仕組みに関わる活動等を「③地域と関わり、人をつなぐ」に分類した。

結果は表4及び図2のとおりである。

表4 事務局によるワンダグリンド・プロジェクトの分野別分類結果

	釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ		自然再生に参加する、行動する		地域と関わり、人をつなぐ	
	取組数(団体数)		取組数(団体数)		取組数(団体数)	
2005	35 (18)	51%	28 (18)	41%	5 (4)	7%
2006	29 (18)	48%	25 (14)	41%	6 (5)	10%
2007	39 (23)	53%	28 (14)	38%	6 (5)	8%
2008	39 (28)	53%	28 (15)	38%	6 (5)	8%
2009	40 (29)	53%	29 (15)	39%	6 (5)	8%
2010	43 (31)	56%	27 (17)	36%	6 (5)	8%
2011	40 (30)	58%	22 (15)	32%	7 (6)	10%
2012	43 (32)	58%	24 (18)	32%	7 (6)	9%

図2 事務局分類によるワンダグリンド・プロジェクトの分野別件数の推移



各年度の取組数に占める「自然再生に参加する/行動する」に該当する取組の割合は概ね30~40%前後で推移しているが、第2期計画では若干減少している。

それ以外に顕著な変化は見られないが、継続して行われている取組であっても、新たに市民参加や地域づくりを目的に加えた団体、自然再生への参加等を目的からはずした団体、ワンダグリンドへの参加をとりやめて「ワンダグリンド推進サポーター」となった団体など、登録形態の変化も見られる。

また、釧路湿原の自然再生において中心的な役割を果たしている自然再生協議会の取り組み自体も整理され、減少している。

5. 事務局の活動

行動計画 WG 事務局では、ワンダグリンド・プロジェクト登録活動の支援に加えて、行動計画の目的達成のための独自の活動を展開してきている。第 2 期行動計画では「② 自然再生に参加する、行動する」が最重点分野とされていることを踏まえ、ワーキンググループでその推進方策を検討するとともに、情報発信としての自然再生解説パネルの出展、WEB サイトでの自然再生事業の解説、ブログによる「自然再生の今」の発信を行ってきた。

特に、2011 年度からは自然再生地の地元住民向け現場見学会や、ワンダグリンド登録団体による自然再生の市民参加強化月間の設定をするなどワンダグリンドの関連活動の集中的な PR 等に取り組んできている。

また再生普及小委員会では「③地域と関わり、人をつなぐ」の具体的な活動として、鶴居村をモデルとする湿原流域マップ作成を検討し、村内関係者へのヒアリング等を経て小委員会と鶴居村、鶴居村観光協会の協働事業としてスタートさせている。

表5 行動計画ワーキンググループによる「参加する、行動する」に向けた取り組み

年度	パネル 展示	イベント にてPR 出展	事業の 概要HP	ブログ	現場 見学会	自然再生 に参加 しよう！ イベント	鶴居村ガ イドマッ プ作成
2005							
2006	○						
2007	○	○					
2008	○	○					
2009	○	○					
2010	○	○	○	○			
2011	○	○	○	○	○2		
2012	○	○	○	○	○3	○	○

表6 第二期行動計画にける事務局の主な取組実績

<p><u>2010年度</u></p> <p>パネル展示（イトーヨーカード釧路店） イベント参加（エコフェア、標茶町産業まつり、環がまち釧路フェスタ、まなトピア、 湿原たからばこ） 自然再生解説HP作成（雷別、達古武）、ブログ開設</p>
<p><u>2011年度</u></p> <p>パネル展示（わっと、釧路市こども遊学館、釧路トヨタ、たんちょう釧路空港、イオ ン釧路店、JR釧路駅、日本製紙株式会社、釧路湿原自然再生協議会） イベント出展（エコフェア、大好き釧路湿原、鶴居村ふるさとまつり、まなトピア） 情報発信（自然再生解説HP作成（茅沼）、ブログ更新） 自然再生現場見学会（達古武、幌呂）</p>
<p><u>2012年度</u></p> <p>パネル展示（道の駅摩周、たんちょう釧路空港、釧路市こども遊学館） パネル貸出（釧路市博物館、釧路市こども遊学館、たんちょう釧路空港） イベント参加（エコフェア、鶴居村ふるさとまつり、等） 情報発信（自然再生解説HP作成（久著呂）、ブログ更新、HPリニューアル、等） 自然再生参加事業集中PR（6月～8月） 鶴居村ガイドマップ作成（地元ヒアリング、ミーティング開催、等）</p>

6. 全体評価

- ① ワンダグリンダ・プロジェクトは、自然再生事業への関心自体が必ずしも高まりを見せていない中で、登録数の増加や取り組み内容の広がりから規模を維持し、重点分野の取り組みが継続していることは、行動計画 WG や再生普及小委員会の活動の成果と評価することができる。しかし、第 2 期行動計画では「自然再生に参加する、行動する」を重点分野としているが、上記結果からは、それらの取り組みが進展したとは言いきれず、これまでの取り組みの継続に加え、重点分野に焦点をあてた取り組みの発信、支援など工夫が必要である。
- ② 上記 3 及び 4 の比較からは、個々の活動目的に関して、ワンダグリンダ参加者の自己認識と事務局の理解に差があることが読み取れる。これは、第 2 期の行動計画の各項目（分類）の意味が明確に共有されていない可能性を示している。このため、今後、第 2 期行動計画の 3 つの重点分野の主旨をより明確化、具体化し、関係者間で共有していくことが必要である。このことは、行動計画やワンダグリンダ・プロジェクトが何を目指しているのかを対外的に発信し、重点分野の活動を喚起していくためにも重要である。
- ③ ワンダグリンダ登録活動や事務局主催事業の参加者アンケートからは、「自然のために役立ってよかった。」「自然再生にも色々な取り組みがあることを知った。」「また機会があれば参加したい。」等、それらの活動についての一定の評価が得られている。しかし、知名度アンケート調査では地域・市民の認知は未だ十分ではなく、さらに、鶴居村の住民ヒアリング等からは、地元での周知の不足や、地域の生活者や産業とのつながりの理解が必ずしも得られていない状況も明らかになっている。このことは、自然再生についての情報発信、対話・交流等の地元とのコミュニケーション、参加機会等をさらに拡充していく必要性を示している。
- ④ これまで 8 年間の活動をとおして事務局にはワンダグリンダ参加団体、サポーター、関係機関、協力団体等とのネットワークが蓄積してきている。今後、さらなる行動計画の推進をめざすうえでは、そうしたネットワークの活用に加えて、各小委員会や自然再生事業実施機関との協働体制など連携を進めていくことも必要である。

今後のワーキンググループの取り組みについての検討

中間評価を受けて、第2期行動計画最終年（2014年度）までの約2年間、ワーキンググループとしてどのように活動していくべきか、検討する。

○ 第2期行動計画は、次の3つを柱としている。

3つの柱	取組の方向性
(1) 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ	① 人々が湿原に関心をもつための湿原との接点を増やします。 ② 湿原のことを知り、体験し、楽しむ機会をつくります。 ③ 湿原のことを学び、考える機会をつくります。 ④ 湿原と人の関わりの歴史と今を伝えます。 ⑤ 湿原で行われている取組について情報発信します。 ⑥ 自然再生に関する情報公開を進めます。
(2) 自然再生に参加する、行動する	① あらゆる立場から、自然再生に参加、協力できる機会を増やします。 ② 湿原に関心を持ち、自然再生にかかわる人を増やします。 ③ 自然再生に参加、行動する人を支援します。 ④ 自然再生に関する活動の情報を発信します。
(3) 地域と関わり、人をつなぐ	① 流域を視野に自然再生と地域の持続的発展の両立を目指す取組を進めます。 ② 湿原への来訪者、滞在者向けのサービスを改善し、人々と湿原との関わりを創り出していきます。 ③ 人、組織、施設をつなぎ、自然再生を支えるネットワークづくり、雰囲気作りを進めます。

○ このうち、(1)については第1期行動計画の5年間で一定の成果が得られたため、第2期行動計画では特に(2)に重点を置き、可能な限り(3)についても進める方針としている。

■ 上記目的の達成のために、本日のワーキンググループでは、以下について検討します。

今後のワーキンググループとして どのような取り組みが必要か？

■ 検討にあたっては、資料4の評価をご参照ください。

今後のスケジュール（案）

2012年	
11月5日	<u>第23回再生普及行動計画WG 開催</u> 第2期再生普及行動計画中間評価 「ワンダグリンダ・プロジェクト 2012」中間報告及び次年度募集概要（案）等についての検討
11月10、11日	まなトピア 2012（主催：釧路市生涯学習センター）参加
12月（予定）	<u>第20回再生普及小委員会 開催</u> 再生普及行動計画WGの報告および内容の承認等
12月中旬	「ワンダグリンダ・プロジェクト 2013」募集チラシ・ポスター作成
2013年	
1月中旬	募集チラシ・ポスター完成。配布開始 「ワンダグリンダ・プロジェクト 2012」活動報告依頼開始
2月（予定）	第10回フィールドワークショップ 開催
2月上旬	<u>第18回釧路湿原自然再生協議会 開催</u>
2月11日～3月11日	「ワンダグリンダ・プロジェクト 2013」募集スタート
4月中旬	<u>第24回再生普及行動計画WG 開催</u> 「ワンダグリンダ・プロジェクト 2012」報告書（案）の検討及び 「ワンダグリンダ・プロジェクト 2013」応募状況について ワンダグリンダ・プロジェクト 2013 公開

ワンダグリーンダプロジェクト2012

釧路湿原自然再生普及行動計画 2012年度具体的取組み

<報告様式>

団体(個人)名							
団体(自己)PR	<div data-bbox="842 510 1366 611" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 団体の概要など。ホームページやブログなどもあればご記入ください </div>						
取組み概要							
<p>ワンダグリーンダ・プロジェクトは以下の3つの柱を基に進めています。 今回ご報告いただく活動が3つのうちどれに当てはまるかマルをつけて下さい。(重複可)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td>釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>自然再生に参加する、行動する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>地域と関わり、人をつなぐ</td> </tr> </table>		1	釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ	2	自然再生に参加する、行動する	3	地域と関わり、人をつなぐ
1	釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ						
2	自然再生に参加する、行動する						
3	地域と関わり、人をつなぐ						
活動の目的・ねらい							
取組みの様子 [日時] [場所] [参加者数] [内容や様子など] [やってみての成果など]	<div data-bbox="970 1093 1366 1193" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> できるだけ具体的な報告をお願いします。 </div>						
主催者の感想、今後の課題や希望、要望など [感想] [その他] [これから]	<div data-bbox="906 1585 1366 1675" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 釧路湿原の保全につながる取り組みを行った感想をお願いします </div>						

※記入いただいた報告書1枚が冊子の1ページで掲載させます。文字数が多い場合は小文字となり、読みにくくなってしまいます。ご注意ください。

※画像については、タテ 50mm×ヨコ 60mm、解像度 300dpi/inch の画像、またはモノクロでボリューム 200K 程度の画像 1～2 枚を、こちらにレイアウトせずに添付ファイルにて別送ください。